

なる個物が生ずるかの如き問題は本書に於て解明してないやうであるが、本書當分の目的たる諸問題に就いては著者の主観が時として挿入され、スピノザから若干離れて、やゝ自由に解釋してあるかの如く感ぜられるやうな場合もあるけれども、廣く諸文献を涉獵し、彼此較較して是非を分ち、平明流暢な文章を以て、繁に失せず、簡に流れず、著者の沈潜思索した結果を披瀝してある スピノザに關する邦文著述の少い我が哲學界に取つて歡迎さるべき好著作であらうと信ずる。(高橋紹介、理想社出版部刊行、菊版二二二頁、定價一圓九十錢)

デイルタイ論文集

栗林 茂譯

本書はデイルタイの著作「ヘーゲル青年時代史」の第一章「最初の開展と神學研究」を、一九一一年五月の雜誌ドイツツェールントシヤウに載つた「ニーブルの歴史的世界觀の起源」を、一八八六年八月の講演「詩的想像力と狂氣の三篇を譯したものである。豊富な歴史の形態に對する非常に鋭敏な感覺を持つて居り、精神の種々の領域に於て嘗て生きてゐた種々の時代の生命を源泉から再び現在化し、新たに生かすことが出來た」と評されるデイルタイ、ヘーゲル以後の最大なる精神史家たるデイルタイの歴史家としての一面は前の二篇によつて窺はれ彼

れの文學論の一斑を後篇によつて窺はわうであらう。譯文は平明であり、固有名詞その他外國語の發育の表記は、出來るだけ原語に近いやうに苦心してある。(丸善株式會社發行、菊版一一八頁、定價一圓三十錢)

寄贈圖書

哲學とは何か

デイルタイ・フツセアール・シエーラー著

戸田三郎・坂田徳男・三木清共譯

東京市 鐵塔書院發行 定價二圓三十錢

哲學

學

第六輯 三田哲學會編
東京市 丸善株式會社發行 定價一圓八十錢

寄贈雜誌新聞

哲學雜誌	昭和五年三月	第五一七號
社會學徒	同 三月	第四卷第三號
大谷學報	同 三月	第十一卷第一號
商學討究	昭和四年十二月	第四冊下
基督敎研究	昭和五年三月	第七卷第二號
信濃敎育	同 三月	第五二一號
精神科學	同 三月	第五卷第一號
丁酉倫理會講演集	同 三月	第三二九輯